

令和元年度事業報告

1. 会議の開催状況

(1) 第34回定時総会

6月19日青森市の「青森県農業共済会館」において開催、下記議案を付議し、原案どおり可決・決定した。

第1号議案 平成30年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録承認の件

第2号議案 令和元年度会費の徴収方法議決の件

第3号議案 資金借入の件

第4号議案 役員補欠選任の件

(2) 臨時総会

3月26日青森市の「青森県農業共済会館」において開催、下記議案を付議し、原案どおり可決・決定した。

第1号議案 令和2年度事業計画書及び収支予算書議決の件

第2号議案 役員報酬決定の件

第3号議案 令和2年度資金調達及び設備投資の見込みの件

(3) 第1回理事会（6月4日 青森県農業共済会館）

ア 第34回定時総会開催について

イ 顧問及び参与の推薦並びに幹事の委嘱承認について

ウ 試験委員会委員の委嘱承認について

【報告事項】

- ・会長理事及び常務理事の業務執行報告について
- ・青森県産業用無人ヘリコプター協議会との「業務委託契約」の締結について
- ・監査報告について

(4) 第2回理事会（6月19日 青森県農業共済会館）

ア 会長理事及び副会長理事の選定について

(5) 第3回理事会（12月7日 青森県農業共済会館）

ア 令和元年度事業計画進捗状況について

イ 令和元年度財務状況について

【報告事項】

- ・会長理事及び常務理事の業務執行報告について
- ・監査報告（上半期）について

(6) 第4回理事会（3月6日 青森県農業共済会館）

ア 臨時総会開催について

イ 令和元年度収支決算見込額について

- (7) 第5回理事会（3月26日 青森県農業共済会館）
 - ア 常務理事の報酬について
- (8) 第1回監査会（5月31日 青森県農業共済会館）
 - ア 平成30年度決算監査について
- (9) 第2回監査会（11月14日 青森県農業共済会館）
 - ア 令和元年度上半期監査（4月1日～9月30日）の実施について
- (10) 幹事会（5月22日 青森県農業共済会館）
 - ア 第1回理事会提出議案について
- (11) 農薬委託試験事業運営委員会（5月22日 青森県農業共済会館）
 - ア 令和元年度農薬委託試験事業の運営について
- (12) 農薬展示圃事業運営委員会（5月22日 青森県農業共済会館）
 - ア 令和元年度農薬展示圃事業の運営について

(13)及び(14)については、台風15号の接近及び通過のため急遽中止とし、メール及び電話等で連絡し取りまとめた。

- (13) 農薬展示圃水稻除草剤成績検討会（9月24日 中止 青森県農業共済会館）
 - ア 令和元年度農薬展示圃水稻除草剤成績検討
- (14) 農薬展示圃果樹中間成績検討会（9月24日 中止 青森県農業共済会館）
 - ア 令和元年度農薬展示圃りんご関係成績検討
 - イ 令和元年度農薬展示圃特産果樹関係成績検討
- (15) 農薬展示圃成績検討会（11月15日 青森県農協会館）
 - ア 令和元年度農薬展示圃成績検討（県施肥合理化推進協議会と合同）
- (16) 農薬展示圃の設置に関する合同運営委員会（2月27日 青森県農協会館）
 - (県施肥合理化推進協議会と合同)
 - ア 令和2年度農薬展示圃の設置について
 - イ 今後の事業について

(17)については、新型コロナウイルスへの感染防止のため急遽中止とし、メール及び電話等で連絡し取りまとめた。

- (17) 農薬展示圃設計説明会（3月13日 中止 青森県農協会館）
 - ア 令和2年度農薬展示圃設計説明（県施肥合理化推進協議会と合同）

2. 植物防疫事業の推進

- (1) 病虫害防除相談・指導について

病虫害及び雑草の防除のため、有人及び無人ヘリコプターを利用して、農薬を散布する実施団体、組織等関係者に対して、防除の実施計画等の指導を行うと共に当該関係者が主催する各種検討会議等に参画して指導、助言をした。

(2) 研修会等の開催について

ア 農薬管理指導士認定更新研修会の開催

令和元年12月6日、農薬管理指導士の資質向上を図るため、青森県から委託を受け、農薬管理指導士のうち認定期間満了後に更新を希望する受講者288名を対象に、下記のとおり講師を招き開催した。

- ・演 題 農薬管理指導士の役割について
- ・講 師 公益社団法人青森県植物防疫協会
講 師 川 嶋 浩 三
- ・演 題 農薬の適正性と適正使用
- ・講 師 公益社団法人緑の安全推進協会
委嘱講師 渡 部 昭 英 氏
- ・演 題 クロルピクリン剤の適切な取扱いについて
- ・講 師 クロルピクリン工業会
事務局長 下 川 勇 次 氏
- ・演 題 農薬販売・管理における留意すべき事項について
- ・講 師 青森県病害虫防除所
総括主幹専門員 藤 田 公 氏

イ 病害虫防除に関する研修会等の開催等

(ア) 農薬危害防止運動

青森県が推進する農薬危害防止運動（5月1日～8月31日）と連携し、その主旨に添って、有人及び無人ヘリコプターによる農薬空中散布等実施主体及び関係者が主催する防除計画策定会議や研修会等に参加して、県が作成したチラシを配布し、農薬の適正使用、適正販売等について指導等により普及を図った。

(イ) 無人ヘリ安全飛行等研修会の開催

令和2年3月10日、青森県産業用無人ヘリコプター協議会と共催して、無人ヘリコプターを利用して病害虫防除に携わる関係者（本協会会員、散布実施主体、機体所有者、オペレーター等、総勢61名）を対象に、下記のとおり講師を招き開催した。

- ・研修内容 無人航空機による農薬等の散布について
- ・講 師 青森県農林水産部 食の安全・安心推進課
主 査 藤 川 弘 幸 氏
- ・研修内容 無人ヘリコプター利用による病害虫防除について
- ・講 師 青森県病害虫防除所
総括主幹 市 田 忠 夫 氏

(ウ) 特別講演会の開催

令和元年6月21日、青森県産業用無人ヘリコプター協議会と共催して、無人ヘリコプターを利用して病害虫防除に携わる関係者（当協会会員、散布実施主体、機体所有者、オペレーター等、総勢94名）を対象に、下記のとおり講師を招き開催した。

- ・演 題 安全な運航について
- ・講 師 ヤマハ発動機株式会社 ロボティクス事業部
UMS 統括部 渡 辺 涼一郎 氏
- ・演 題 無人航空機を取り巻く情勢について
- ・講 師 青森県農林水産部 食の安全・安心推進課
主 査 藤 川 弘 幸 氏
- ・演 題 農業用ドローンを利用した水稻・大豆病虫害の防除について
- ・講 師 (地独) 青森県産業技術センター 農林総合研究所
総括研究管理員 木 村 勇 司 氏
研究管理員 倉 内 賢 一 氏

(3) 情報の提供

病虫害防除情報、新農薬の特性・適正な使用方法等の植物防疫に関する情報提供や、関連行事を本協会ホームページに掲載したほか、青森県から提供される植物防疫に係わる各種情報を防除生産組織や農薬散布者に郵送等により提供した。

また、営農大学校及び農業後継者等を対象とした研修会等に、当協会職員を派遣し講義・講演を行った。

3. 農薬試験研究事業の実施

(1) 農薬委託試験の実施について

本県で作付されている農作物の主要病虫害防除用農薬の実用化を促進するため防除効果、作物・土壌残留に関する試験を一般社団法人日本植物防疫協会及び農薬会社等から依頼を受け、試験研究機関等の指導協力を得て実施した。

特に重要度の高いもの及び基礎的な試験を必要とするものについては、試験研究機関に再委託して試験した

本県への試験依頼件数は 282件 (当協会146件、試験研究機関 136件)

令和元年度 開発未登録農薬の実用性試験実績 (単位：件)

試験区分	実施機関	地方独立行政法人 青森県産業技術センター				当協会	合計
		農林総合研究所	りんご研究所	野菜研究所	りんご研 県南果樹部		
水稻 ・ 畑作	殺菌剤	15	0	1	0	0	16
	殺虫剤	23	0	13	0	46	82
	薬害等	7	0	6	0	1	14
果樹	殺菌剤	0	42	0	8	44	94
	殺虫剤	0	13	0	4	25	42
	薬害等	0	3	0	1	1	5
GLP作残		0	0	0	0	29	29
非GLP作残		0	0	0	0	0	0
合 計		45	58	20	13	146	282

(2) 農薬展示圃の設置について

公益財団法人日本植物調節剤研究協会及び農薬会社から依頼を受け、現地展示圃を試験研究機関の指導と県の各農業普及振興室の協力を得て設置した。

本県への試験依頼件数は、16剤の農薬を24カ所で試験、15剤について「普及性あり」の判定

令和元年度 新規登録農薬の現地適応性試験実績

試験区分	実施機関	県農業普及振興室						研究機関	当協会	箇所数	剤数
		東青	中南	三八	西北	上北	下北				
水 稲	病虫害防除剤	0	0	1	0	1	0	0	0	2	1
	除 草 剤	1	0	0	1	0	0	0	0	2	1
畑 作	病虫害防除剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	植調剤・除草剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
果 樹 (りんご)	病虫害防除剤	2	2	2	3	1	0	0	0	10	5
	植調剤・除草剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特産果樹	病虫害防除剤	0	1	1	0	0	0	0	0	2	1
	植調剤・除草剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
やさい・ 花 き	病虫害防除剤	1	1	1	2	2	1	0	0	8	8
	植調剤・除草剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飼料作物	病虫害防除剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	植調剤・除草剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		4	4	5	6	4	1	0	0	24	16

4. 農作物病虫害防除指針の編成

青森県農作物病虫害防除指針編成会議（構成：青森県、(地独)青森県産業技術センター、全国農業協同組合連合会青森県本部、青森県農薬商業協同組合、公益社団法人青森県植物防疫協会）が「令和2年度農作物病虫害防除指針（除草剤、植物成長調節剤、鳥獣害防止を含む）」の編成にあたり、誤記載を排除するため、前年度同様関係機関・団体及びメーカーによる原稿のクロスチェックを行った。

5. 時節懇談会の開催

令和2年3月13日、(地独)青森県産業技術センターなどに、県内における植物防疫に係るその時々(時節)の話題を提供していただき、農薬メーカー(賛助会員)と情報を共有するとともに、幅広く意見交換を図ることを目的として開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染防止の観点から急遽中止とした。

6. 農作物病虫害防除指針の配布

青森県農作物病虫害防除指針編成会議編の「令和2年度農作物病虫害防除指針（除草剤、植物成長調節剤、鳥獣害防止を含む）」を賛助会員及び希望申込のあった関係者に配布した。

7. 県外会議等の出席状況

- 元年 4月19日 北海道・東北地区植物防疫協会事務局会議
～20日 (山形県植防・山形県鶴岡市)
- 4月24日 G L P 作物残留試験及び薬効薬害試験に係る研修会（日植防・東京都）
～26日
- 5月30日 殺虫処理基準の確立に関する試験計画検討会（農研機構・東京都）
～31日
- 6月14日 日本植物防疫協会 第7回総会（日植防・東京都）
- 9月20日 日本植物防疫協会シンポジウム（日植防・東京都）
～21日
- 9月25日 報農会シンポジウム（報農会・東京都）
～26日
- 10月24日 我が国の輸出に有利な国際検疫処理基準の確立、実証委託事業
「国際基準として提案できる殺虫処理技術の確立と実証」中間検討会
（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構・茨城県つくば市）
- 10月31日 新農薬実用化試験（稲・野菜等）成績検討会（日植防・岩手県盛岡市）
～11月 1日
- 12月 2日 新農薬実用化試験（寒冷地果樹）成績検討会（日植防・東京都）
～3日
- 12月16日 第7回生態と防除研究会（植物病害カンファレンス）
～17日 (岩手県農業研究センター・盛岡市)
- 1月20日 シンポジウム「病虫害被害の近未来を考える」（日植防・東京都）
- 1月21日 我が国の輸出に有利な国際検疫処理基準の確立、実証委託事業
「国際基準として提案できる殺虫処理技術の確立と実証」及び「複数の措置の組み合わせによる検疫措置案の実証」に関する成果検討会
（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構・東京都）
- 2月20日 北日本病虫害研究発表会（秋田県農業試験場・秋田県秋田市）
～21日
- 2月25日 G L P 作物残留試験推進会議（日植防・東京都）